

平成14年度 公共事業再評価調書（地すべり防止事業）

（事業着手後 5年以上経過し継続中の事業）

評価確定日	平成14年11月27日
所管部課名	農林水産部 森林整備課

地区名	事業の概要	1 必要性の観点			2 事業進捗の見込みの観点
		事業の進捗状況	事業を巡る社会経済情勢等の変化	事業の投資効果	[事業進捗の見込み]
[路線名] [箇所名] 砥沢 [所在地] 由利郡鳥海町 上笹子	[事業の目的] 当地区の頭部には高さ100mにもおよぶ大規模な滑落涯が存在し、滑落涯直下には陥没帯があり湿地を形成している。また、地域内には分離小丘や台地の形成などが見られ、典型的な地すべり地形であると推察される。 そのような中、平成8年の融雪時に地すべり兆候が活発化し、町道上及び斜面に亀裂が見られ、末端部の擁壁は地盤の盛り上がりによって隆起し、下流域にも被害を及ぼすことが懸念されたため、平成9年度より最も変動の厳しいブロックを主体に対策工事を実施している。 [総合計画上の位置付け] 第1章 安全・安心に楽しく暮らす秋田 3 快適で安全な生活を支える環境づくり (2) 災害に強い県土づくり [事業の内容] 地すべり防止事業 指定区域面積 59.44ha 保全対象 人家 29戸 農耕地 43ha 県町道・橋梁・一級河川 他 事業費 10億円 事業期間 H9～H18(見込み) 事業内容 ・地すべり解明のための調査一式 ・抑制工ほか対策工事 集水井16基 集排水ボーリング 水路工	[事業の経緯] H9 調査、水路工 247m H10 集水井1基、ダム工2基 集排水ボーリング 903m H11 集水井1基、ダム工2基 集排水ボーリング 395m H12 集水井1基 集排水ボーリング 728m H13 集水井3基 集排水ボーリング 2,871m (調査は毎年実施) [進捗状況] H13末投資済事業費 工事費・調査費 494,652千円 (49.5%) H14末見込み 62.1% [長期継続の理由] 地すべり防止工事の効果判定調査をしながらの対策であるため、事業期間を要している。	[社会経済情勢の変化] 事業採択時から再評価実施までの周辺環境の変化 特に変化はない。 [地元の意向] 下流域の砥沢部落をはじめ、笹子地区では早期完成・早期安定を望んでいる。 [環境対策] 環境調査は行っていないが、工事の施工に当たっては、現場及び現場周辺の自然環境、景観等の保全に十分配慮するとともに、それらが著しく阻害される恐れのある場合には、あらかじめ対策を立てることとしている。	[整備効果] H13年度まで、集水井6基と集水ボーリングを施工した結果、地すべりの要因である地下水位は顕著に下がった。その結果H12年度では最大35cmあった変動量が、昨年は2cm程度に収まるなど、軽微な進行となっている。 [費用の変化] 特に変化はない。 [費用対効果] 事業採択時点では実施していない。	[事業進捗の見込み] 順調に推移する予定である。 3 コスト縮減や代替案立案等の可能性の観点 [コスト縮減の可能性] ブロック堰堤工を採用し、労務費や工期の短縮を図っている。 [代替案立案の可能性] なし。
再評価の結果		対応方針(案)及びその理由		公共事業評価専門委員会の意見	
継続・中止		[対応方針(案)] 当初計画どおり、平成18年度事業完了を図る。 [理由] 本事業の実施により、地すべり指定地全体の安定化が図れつつあるが、目標安全率には達していないため、当該事業を継続するものである。		「継続」とする県の対応方針を妥当と認めます。	